

タイにおける日本の新型コロナ関連支援

令和3年10月
在タイ日本大使館

1 基本的な考え方

- 日本は、新型コロナウイルス感染症の危機に直面するタイに対し、①ワクチンや治療用酸素濃縮器の無償供与、②ワクチンの輸送・保管に必要なコールド・チェーンの整備、③検査体制強化や治療薬開発に向けた支援をスピーディに実施していく。
- 2011年に両国を襲った東日本大震災とタイ大洪水など、日本とタイは危機において助け合い、絆を深めてきた。日本は、タイが「より良い復興（build back better）」を実現するために協力していく。

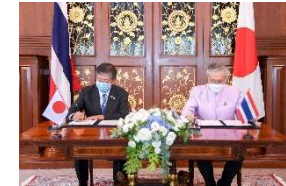
2 具体的な協力と支援策

（1）アストラゼネカ社ワクチンの無償供与（合計約205万回分）

- 7/9 1回目到着（約105万回分） 9/8 2回目（約30万回分）
- 9/26 3回目（30万回分） 10/15 4回目（約40万回分）

（2）コロナ治療に必要な酸素濃縮器868台の無償供与（総額180万ドル）

- 8/3 閣議決定（UNOPを通じた供与） 9/27 引渡し式典



E/N署名・交換式（6/21）



引渡し式典（7/12）

（3）ウィルス監視・検査能力の強化、治療薬開発のための研究促進のための二国間協力（総額550万ドル）

- 病原体分析、**ウィルス変異の監視能力強化**、**ワクチンの品質管理能力向上**のための専門家派遣・機材供与（国立衛生研究所）
- 新型コロナの**治療薬開発に資する抗体開発研究を支援**するための専門家派遣・機材供与（マヒドン大学抗体研究センター）
- 新型コロナ含む感染症の**検査能力拡充・判定の迅速化**のための専門家派遣・機材供与（バムラートナラドゥン感染症研究所）

注）国立衛生研究所は過去、日本の無償支援で建設。国立衛生研究所、マヒドン大学については大阪大学とも協力。

（4）国際機関と連携したタイへの協力（総額1225万ドル）

- 国立衛生研究所の**感染症実験・研究施設の改修支援**（WHOへの拠出金（1150万ドル）を活用）
新型コロナ含むウィルスの検知、検診・治療に関する研究、ワクチン開発、人材育成の中核施設を支援。
- 新型コロナワクチンの輸送・保管に不可欠な**コールド・チェーンの整備を支援**（保冷設備や温度測定装置等）
（UNICEFに対する緊急無償（75万ドル））。



国立衛生研究所改修記念式典（6/21）

（5）**日ASEAN協力**

- 新興感染症や公衆衛生の危機への準備、探知、対応のための**ASEAN感染症対策センター設立に向け**、日本は**5,000万ドルを拠出**。地域の医療先進国である**タイとも連携**。